



## 「チーム担任制」デメリットは無し?!

～取組の課題～

校長 吉田 博明

### <「デメリットはありません」>

ここまで、チーム担任制の成果について説明してきました。次に課題、デメリットについてお話しします。昨年、チーム担任制を始めて2年目になった6月頃、チーム担任の先生方に「チーム担任制のデメリットは何?」と聞いてみました。するとみんな「うーん…」と考えた後、「ありません。」と答えたのです。研究発表会直前の10月に聞いてみても、同様に「ありません。」と4人とも口を揃えて言います。本当かと思われるかもしれませんが、実際に取り組んでいる教師が肌で感じる感覚なので、それが確かなのだと思います。

### <校長の覚悟>

それでも、あえて課題を見つけるとしたら、「校長の覚悟」だと思います。チーム担任制を始めて2年間、保護者や地域の方からの苦情は一件もありません。あるのは教師からの不安や否定的な意見でした。今までやったことのない取組に不安を感じるのも当然です。その時に、それでもこの取組が子どもたちにとって必要だと説得するだけの覚悟が校長にあるのか。はっきりとしたビジョンを持って、責任はすべて校長が取るという覚悟を持って進むことができるか。そういう「校長の覚悟」が、最大の課題だと感じています。

#### ①校長の覚悟

- ・校長がチーム担任制の必要性を感じているか
- ・否定的な教員に立ち向かえるか

### <教職員の意識改革>

そして教職員が、自分たちが若手の頃とは違うこと、自分一人で学級の児童全員の命を守ることはできないと自覚すること。自分の学級さえ良ければという狭い視野でなく、学校全体のことを考えられる広い視野を持つことが必要だと思います。

#### ②教職員の意識改革

- ・自分たちの若手だった頃とは違う
- ・自分一人で学級全員を満足させるのは不可能
- ・責任の所在は明らか
- ・「自分の学級さえ良ければ」から「学校全体」へ

### <保護者、児童からの信頼獲得>

アンケートを重ね、一定数(約2割)の反対意見は必ずあるのだと感じています。その方々には、地道な取組で信頼を得ていくしかないと思います。2年目になり少しずつアンケートの結果が向上してきました。さらに信頼してもらえよう、良い取組にするために組んでいきます。

#### ③保護者、児童からの信頼を得るために

- ・必ず、一定数(約2割)反対意見はあるもの
- ・地道な取組こそ、信頼を勝ち取る近道